

給食の時間における食に関する指導案（例）

- 1 題材名 広島県産の旬の食材を知ろう
- 2 指導時期 10月～3月
- 3 本時の目標
 - ・食料の生産は、自然の恩恵の上に成り立っているとともに、生産者の苦労や努力に支えられていることを理解することができる。【知識・技能】
- 4 食育の視点
 - ・食べ物を大切にし、食料の生産等に関わる人々へ感謝する心をもつ。【感謝の心】
- 5 準備物
 - 動画視聴用機器，わけぎ，野菜カード（絵と名前）
- 6 本時の展開

	学習活動	◇指導上の留意点 ◆支援の手立て	評価基準 (評価方法)
導入	1 今日の給食に使われている野菜の中で、広島県が生産量全国第1位である野菜は何かを考える。	◇今日の給食に使われているすべての種類の野菜カードを提示する ◆ヒントを出す。 ヒント例1：今が旬です。 ヒント例2：ねぎに似ています。 ヒント例3：ぬたに使います。	
めあて：わけぎについて知り、生産者の思いを考えながら給食を食べよう。			
展開	2 動画「わけぎ：分割2」を視聴し、わけぎについて知るとともに、生産者の思いを理解する。 ※動画フルの場合2:20～6:53	◇必要に応じて、動画の一時停止や再生を行う。 ・わけぎ出荷量の推移 ・クイズ 第1問 「わけぎ」と「ねぎ」 第2問 わけぎの育て方 第3問 わけぎを食べる習わしがある行事	
	3 わけぎの実物を見て、ねぎとの違いを知る	◇わけぎの実物を提示して、関心を高められるようにする。 ◆ねぎとの違いが分かるよう、具体的に視点を示す。	

<p>終末</p>	<p>4 動画「わけぎ:分割3」を視聴し、わけぎの生産が抱えている問題点について考える。 ※動画フルの場合6:54~9:28</p> <p>5 まとめ</p> <div data-bbox="231 504 582 806" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>児童のまとめ例 野菜の生産に関わる人々に感謝しながら、広島県産の野菜（わけぎ）を積極的に食べるようにしたいと思います。</p> </div>	<p>◇地域の郷土料理を紹介し、地域でとれる野菜を積極的に食べることがSDGsの達成につながることに気付かせる。</p> <p>◇野菜（わけぎ）の生産や流通と関連付けて、自分にできることを考えさせる。</p> <p>※給食を食べ終わった児童は、実際にわけぎを見たり、触ったり、匂いをかいだりできるよう、提示しておく。</p>	<p>○食料の生産は、自然の恩恵の上に成り立っているとともに、生産者の苦労や努力に支えられていることを理解している。【知識・技能】(発言・行動・態度)</p>
-----------	--	--	---